

令和5年度
泉佐野市立児童発達支援センター
保護者等からの自己評価結果表

令和6年4月

泉佐野市立児童発達支援センター
児童発達支援「木馬園」
泉佐野市子育て支援課

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 4月30日

保護者等数(児童数) 47 人 回収数 21 枚 割合 43 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	43%	29%	29%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・いちごグループの部屋は狭いと思う。 ・人員、スペースを増やして欲しい。 ・トイレの環境を変えて欲しい。 ・親子保育で大人も部屋に入ると狭く活動しにくい。 ・給食後、廊下で遊ぶのは窮屈そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の大きさは、国の基準を満たしています。 ・トイレの改修を今年度実施しました。 ・活動スペースに十分なゆとりがあるとはいえないので、人数や活動にあった環境整備を考えていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	67%	10%	10%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・OT、STの人数を増やして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・OTにつきましては令和5年度と同じですが、STは令和6年度より常勤となりました。子どもや保護者の方の声を聞きながら、これからも適切な療育に繋げていきたいと思えます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	52%	24%	14%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・年々少しずつ良くなっているように感じるが、まだできる余地があると思う。 ・建て替えが決定したそうなので、バリアフリー等ももっと進むと良いと思う。 ・親から見ても分かりにくいので、子どもはもっと生活しにくいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建て替えでは、子ども達がより活動しやすい生活空間となるようにと考えています。 ・現在の施設でも、環境を整え、少しでも改善できるように努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	52%	29%	14%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレのにおいが気になる。 ・先生も忙しいと思うので、清掃の方が欲しい。 ・遊具や絵本など経年劣化がひどいものがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレは、引き続き衛生的に使えるように清掃いたします。 ・遊具や絵本につきましても、劣化に伴う危険がないよう、点検・入れ替えなどを行います。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	86%	14%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・通園するようになってからの成長が著しく感じ、自己主張もできるようになったので良かった。 ・同じクラスやバスで会う保護者や先生と話すことで色々な情報を教えてもらったり、交流でき、良かった。 ・話をしっかり聞いてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長を保護者の皆様と一緒に支援していけるよう、これからも課題分析や児童発達支援計画を考えていきます。 ・保護者の方同士や職員とのつながりを感じられる場をこれからも大切にしていきたいです。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	81%	10%	0%	10%		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画で、「発達支援」「家族支援」「家族支援」「地域支援」の項目について丁寧に説明し、計画に沿った支援を行えるようにしていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	86%	10%	0%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動をずっと見ている訳ではないが、できていないままの事も多々ある。 ・課題がぼんやりしているように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画でたてたねらいや支援について、成長や課題を明確にし、職員間で連携して取り組んでいきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	67%	14%	0%	19%		・子どもたちの活動が固定化しないよう、カリキュラムの検討を行っています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	71%	24%	0%	5%	・1年に1、2度のみで意味があるのかと思う。 ・機会を増やして欲しい。 ・今年度から交流会は復活したが、並行通園の話は決定事項として聞いていたが、どうなったか？	・令和5年度より認定こども園との交流を始めました。子どもや保護者の方にとってよりよい機会となるよう、今後も検討していきます。 ・並行通園につきましては令和6年度途中の実施になりますが、検討をすすめています。
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	81%	5%	10%	5%	・あわただしく集められて、「去年と同じです」と言われた。不明な点を問い合わせた際に、「重要事項説明書にかいてあります」とあしらわれた。 ・月1回負担した分の用紙はもらうが説明はない。	・保護者の方にわかりにくいものとならないよう、必要な説明をきちんとできるようにしていきます。また、必要に応じて個別でも説明します。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	90%	5%	0%	5%		・ガイドラインについて保護者の方にわかるように知らせていきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	76%	14%	10%	0%	・懇談などをしてきている ・子育て教室に参加し、ためになった。	・送迎時や懇談でこどもの姿や関わりについて保護者の方と共に考えていきます。 ・保護者の方のニーズを踏まえ、令和6年度は子育て教室の内容を変更しました。これからも子育てについて考え、交流できる場にしていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	90%	10%	0%	0%	・様々な方法で頑張って伝える様にはしていましたが、療育園ならもう少し親に言われる前に園側から提案する等の積極性があってほしいと思う。 ・相談する担任によって違いがあり、親身になってくれる担任ばかりに相談してしまう。 ・毎日あった事を共有できている	・子どもの発達や課題についての学びを職員研修などで深めていきながら、よりよい支援のあり方について考え、保護者の方と共有していけるように努めます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	76%	14%	5%	5%	・育児に関する助言は心理士に求めた。客観的な視点で具体的に提案があり、助かりました。 ・困り事を聞いてアドバイスをもらえるので助かる。 ・保護者から言っただけで時間をとってもらうことも悪いので、2、3ヶ月に一度面談の機会があればと思う。	・心理士、訓練士、保育士などそれぞれの専門性に基づいて支援を行いながら、保護者の方の思いや願い、子どもの成長などをしっかりとふまえて一緒に考える機会を大切にしていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	76%	10%	0%	14%		・保護者会の活動に関しては担当職員と相談しながら連携を取れるよう支援していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	67%	19%	5%	10%	・担当者会議で決まった件ですら、なかなかの時間を要しました。 ・相談を求めたらすぐに時間を設けてくれ、助かった。	・子どもや保護者からの相談や申入れについて、可能な限り迅速に対応できるよう、職員間での連携や情報共有をすすめています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	95%	5%	0%	0%		・送迎時の直接対話だけでなく、連絡帳やホワイトボード、おたよりなど、伝達する内容に合わせて今後もお伝えしていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	67%	14%	5%	14%		・年度初めに年間行事予定をお知らせし、毎月のおたよりでも次月の行事予定をお知らせしています。また、お子さんのグループや年齢によって活動内容や日程が異なるものに関しては、適時、おたよりやホワイトボードでお知らせしています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	86%	0%	5%	10%		・個人情報の取り扱いには、十分気をつけています。
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	76%	24%	0%	0%	・時間により施錠するのは良いと思いますが、インターフォンがならないときがある。親子保育終了後も施錠されているのは改善を求めます。	・様々な事態を想定した避難訓練を行っています。 ・インターフォンのメンテナンスを適宜行います。また、親子保育時の施錠につきましては終了時間には開けるようにしていますが、グループにより多少の時差がありますのでご理解ください。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	95%	5%	0%	0%		・令和5年度は避難用抱っこベルトを購入しました。必要と思われる備品をそろえ災害に備えています。 ・毎月、様々な事態を想定して避難訓練を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	90%	5%	0%	5%	・毎日「楽しかった」と言っている。 ・聞くこともできず、しゃべらないので、本人しか分からない。 ・行きしぶりは時々あるが、行くと楽しそう。	・木馬園での生活が安心できるものとなるよう人との関わりを大切にしながら、引き続き楽しい遊びを工夫していきます。
	23	事業所の支援に満足している	81%	14%	5%	0%	・たとえ他と同じ制度で対応してと言っても、職員の質により結果は変わる。建て替えにより、信頼できる療育センターに生まれ変わることを期待している。	・子どもにとって適切な療育を行えるよう、職員研修や関係機関との連携で学びや知見を広げ、保護者の方と一緒に考え、成長していける療育施設でありたいと考えています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。